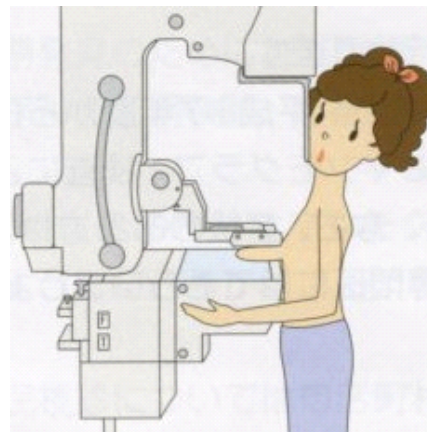


初めて検査を受けられる方へ

- マンモグラフィとは

乳房のレントゲン撮影です。

乳癌を見つけるために有効な画像診断のひとつです。



- どのようにして撮影するの？

撮影は左右の乳房別々に行います。

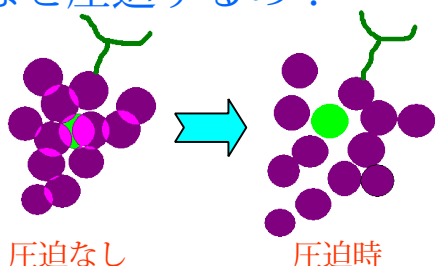
撮影する際には、圧迫板という板で乳房を強めに押さえるようにして、撮影します。圧迫したからといって、乳房の中のがんが飛び散るようなことはありません。

- 撮影の際によくある質問

- 痛いと聞きますが？

痛みには個人差があります。乳房の大きさには全く関係ありません。肩の力を抜いてリラックスすることが非常に大切です。

- なぜ圧迫するの？



乳腺とはブドウの房のようなものです。黄緑部分が腫瘍だと思ってください。紫の部分が乳腺です。

圧迫することにより、隠れている腫瘍がよく判ります。また、圧迫することにより被ばくも少なくなります。

撮影する際にはやや強めに押さえますが、一定以上の圧力がかからないような設定になっておりますので、ご安心ください。

• 撮影時に注意していただきたいこと



生理前の撮影はできるだけ避けましょう

撮影時にはどうしても圧迫が必要です。生理前など乳房が張った期間はできるだけ避けてください。生理から約一週間後、乳房のはりや痛みがなくなった状態がお勧めの時期だと思います。症状があるときは気にせず受診しましょう。



制汗剤やパウダーなどは拭き取ってください



マンモグラフィの撮影範囲は乳房のみではなく、腋の下も撮影します。もし制汗剤などをつけていると、ガンの早期サインである石灰化（砂粒のようなもの）とよく似た画像で写ってしまいます。不要な再検査や必要以上の被ばくを避けるためにもご注意ください。



長い髪などは束ね、貴金属類は外しましょう

髪の毛もマンモグラフィでは写ってしまいますので、長い髪の方は束ねておいていただけるとスムーズに検査が実施できます。貴金属類は必ず外しましょう。



気になる症状がある方は撮影担当者に必ず伝えましょう

よりよい撮影と診断に役立ちます。



ペースメーカー・ポート埋め込み・豊胸術などをされている方は、必ず撮影担当者に報告してください

機器埋め込みなどをされている方は、リード線などに影響を及ぼすことがあります。

豊胸術の方は、内容物によっては撮影者が知らずにそのまま検査を実施してしまうと、内容物が破損し、緊急手術などに及ぶことがありますので必ず報告してください。



妊娠中・授乳中の方は撮影前にご相談してください